



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2020年
11月6日
発行

第61回 「人口動態で見る大統領選」

～変革が求められるトランプ後の米国～

初めに

米国の大統領選挙は激戦となり、一部は法廷に持ち込まれることになりました（正直自分ももっと差をつけてバイデン氏が勝つと見ていました）。ただ獲得した選挙人数が上回っていることやトランプ氏が主張している郵便投票の不正について証拠を提示していないことなどから、時間稼ぎになっても逆転には至らないと見ており、これまで一貫してトランプ再選なしを主張して来た当レポートとしてはほっとしています。この大統領選は米国にとって大きな意味を持つものと考えていますが今回は人口動態の観点から、この選挙についてお話しします。

トランプ氏再選なしの訳は人口動態

当レポートは開始以来一貫して「トランプ再選なし」を唱えています。その根拠が米国の人口動態です。以下、この点について述べます。共和党の支持基盤は都市部でなく郊外に住む白人男性です。世代別には第二次世界大戦後に生まれたベビーブーマー世代が多いと言われます。この世代は数が多く、当時の米国社会に大きな影響を与えました。

勢力を増すミレニアル世代

しかし高齢化が進んでベビーブーマー世代が占める比率は小さくなり今では2000年以降に成人に達したミレニアル世代が世代別の最も人数の多いグループになったと言われています。この世代には学資ローンなどで苦勞している人が多く米国建国以来初めて親の世代よりも貧しい世代と言われています。ミレニアル世代は政治的には左派寄りです。民主党支持者が多いのが特徴です。今回の大統領選では左派系の主張の影響が見られました。例えばバイデン氏の公約に企業や富裕層に対する増税が盛り込まれた事がそうです。またバイデン氏が環境問題について踏み込んだ約束をしてペンシルバニアで批判された事もそうです。失言だったかもしれませんが民主党左派には環境問題を重視する勢力がありそうした勢力の離反を回避するためには必要なことだったと思われる。こうした人口の変化の影響は2018年の中間選挙で既に指摘されていました。この選挙では民主党が下院の多数を奪回して勝利しています。この人口の変化の影響は長期にわたって続くと思われ共和党は選挙で苦戦を余儀なくされると考えられます。

今回の選挙の意味

ところで今回の選挙は米国にとって非常に大きな意味を持つものになると考えています。その1つは世代交代です。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。

世代交代に期待

トランプ氏やバイデン氏は先程述べたベビーブーマー世代ですがこの世代が中心になる大統領選挙はこれが最後でしょう。これからはもっと若い政治家の活躍が期待されます。その筆頭が次期副大統領となるカマラ・ハリス氏です。単に副大統領というだけでなく高齢のバイデン氏に代わって次の大統領選に出馬する可能性が指摘されています。共和党ではポンペオ国務長官が注目されます。気難しい上司であるトランプ氏を懐柔しながら対中包囲網を作り上げようとした手腕は特筆出来るでしょう。今後はこうした若い世代が米国の政治をリードしていくことになるでしょう。

米国の政治制度はどうなる

もう1つ注目したいのはこの米国の政治制度がどうなるかです。新型コロナウイルスへの対応や大統領選によりこの制度が様々な問題を抱えていることが明るみに出たと考えています。この問題がどうなるかも注目すべき点です。